

増田房江さんの長寿を祝う

1月10日に100歳の誕生日を迎える増田房江さん(白羽区)を1月9日、石原市長が訪ね、祝い状や花束を贈り長寿を祝いました。

趣味は絵画と旅行という房江さん、「長寿の秘けつは一生懸命働くことだよ」と笑顔で話していました。



交通安全への貢献に感謝状

菊川警察署長から1月15日、御前崎市交通指導隊に、日頃の交通安全指導や交通安全啓発活動により、菊川警察署管内の交通事故減少に貢献したとして感謝状が贈られ、1月29日、藤沢隊長たちが石原市長へ報告に訪れました。



地域の名所・旧跡を巡る

高松まちづくりの会が1月18日、「高松地区防災避難地・避難所、ウォーキングコース」を紹介した案内看板を作成し、高松公民館に設置しました。地域の歴史を後世に伝えていく目的で作られ、地区内の19カ所の名所や史跡が表示されています。



医療現場の現状を知る

地域医療講演会が2月1日、佐倉公民館で開かれ、丹波新聞の足立記者を講師に招き、兵庫県立柏原病院で住民が立ち上がり地域医療を守った話を聞き、参加者は、医師と住民の「気づき」と「対話」による相互理解の必要性を学びました。



海を越えた交流続く

姉妹都市である蔚珍郡から交流事業として1月7日、小学生15人が御前崎市を訪れました。

一行は御前崎市内を観光した後、市内小学生19人と交流会を行い、レクリエーションやプレゼント交換で友好を深めました。



市制施行 10周年記念シンボルマーク・キャッチフレーズが決定

キャッチフレーズ

きらり輝く未来へ ~新たな船出の刻(とき)~

シンボルマーク



意味: 御前崎市のひらがなの頭文字「お」の文字をモチーフに、人が両手を広げ、伸びゆく様子をイメージし、御前崎市が今後も発展していく願いが込められています。